

# 財務情報

- 財務ハイライト
- 資金収支計算
- 事業活動収支計算
- 貸借対照表



## 財務の概要 (2017年度)

※千円単位および百万円単位等で表示する際に単位未満を四捨五入しているため、端数調整のため差異が生じる場合があります。また、予算、決算において、全て0円の科目は表示を省略しています。

### 財務ハイライト

学校法人東京電機大学の2017年度決算は、2018年5月29日開催の評議員会・理事会において承認されました。2017年度決算の概要は、予算(2017年3月28日評議員会・理事会承認)との比較において、次のとおりです。

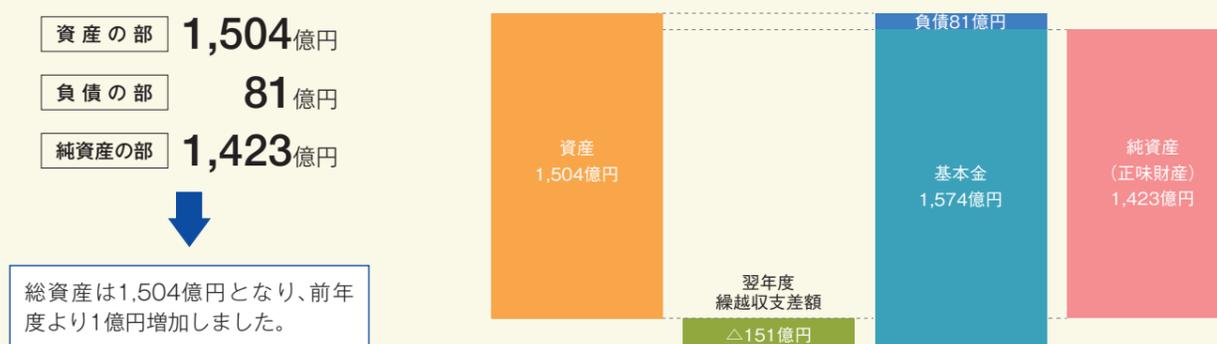
### 資金収支計算



### 事業活動収支計算



### 貸借対照表 2017年度末(2018年3月31日)



## 2017年度に学園が優先的に取り組んだ主な事業の経費

### 【一般会計】

事業内容	経費
埼玉鳩山キャンパス 12号館空調機改修工事	60,750
埼玉鳩山キャンパス 6号館トイレ改修工事	
東京小金井キャンパス 1号館小ホール改修工事	
計	60,750

事業内容	経費
埼玉鳩山キャンパス 高速液体クロマトグラフ機器 (HPLC) および HPLC用GPCカラム	6,199
計	6,199

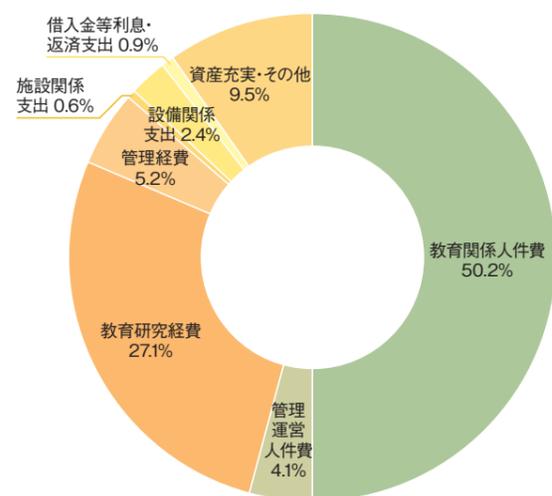
### 【特別事業会計】

事業内容	経費
東京千住キャンパス等整備関連事業 I街区建物工事関連経費	154,314
計	154,314

事業内容	経費
埼玉鳩山キャンパス 40周年記念事業低軌道衛星地上局システム	113,400
埼玉鳩山キャンパス 10号館空調機更新工事	111,240
埼玉鳩山キャンパス 5・9・10・11・12号館外壁改修工事	115,441
基幹ネットワークシステム更新関連事業	717,378
大学教育研究システム更新関連事業	68,738
中学校・高等学校教育システム更新関連事業	29,376
サーバプラットフォーム更新関連事業	30,877
特別広報費	29,922
計	1,216,372

## 学費・補助金収入の使われ方 (2017年度決算数値より)

2017年度の学費収入と国や地方公共団体等からの補助金収入を100とした場合の使用状況は次のとおりです。



経費の内訳	比率
教育関係人件費	50.2%
管理運営人件費	4.1%
教育研究経費	27.1%
管理経費	5.2%
施設関係支出	0.6%
設備関係支出	2.4%
借入金等利息・返済支出	0.9%
資産充実・その他	9.5%

次のページから学校法人会計基準に基づく2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の財務計算書を報告いたします。

## 資金収支計算

資金収支計算書について (学校法人会計基準第6条の要旨)

当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入および支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金預金)の収入および支出のてん末を明らかにすることを目的としています。

### 収入の部

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	13,782,403	13,920,819	△ 138,416
手数料収入	594,968	593,929	1,039
寄付金収入	222,000	370,788	△ 148,788
補助金収入	1,798,409	1,751,647	46,762
資産売却収入	80,000	580,000	△ 500,000
付随事業・収益事業収入	301,175	405,092	△ 103,917
受取利息・配当金収入	260,533	257,911	2,622
雑収入	372,058	434,535	△ 62,477
前受金収入	2,499,554	2,479,393	20,161
その他の収入	635,042	1,884,458	△ 1,249,416
資金収入調整勘定	△ 2,466,313	△ 2,743,380	277,067
前年度繰越支払資金	6,344,564	7,785,481	-
収入の部合計	24,424,393	27,720,673	△ 3,296,280

### ■予算と決算の差異の主な理由

- ①収入の部
- 学生生徒等納付金収入(138,416千円増加)  
学部の学費納入者が積算人数より増加し、納付額が予算計上額を上回りました。
  - 寄付金収入(148,788千円増加)  
サポート募金への多額な寄付および研究奨励寄付金の増加により、予算計上額を上回りました。
  - 補助金収入(46,762千円減少)  
国庫補助金の私立大学等経常費補助金(一般補助)において、算定に係る各種(人数系・経費系)の増減率が悪化し、補助金収入が予算計上額を下回りました。
  - 資産売却収入(500,000千円増加)  
債券の早期償還により、売却収入が予算計上額を上回りました。
  - 付随事業・収益事業収入(103,917千円増加)  
受託研究等の増加により、研究収入が予算計上額を上回りました。
  - 雑収入(62,477千円増加)  
依願退職者の増加により、私学退職金社団および私立大学退職金財団の交付金収入が予算計上額を上回りました。
  - その他の収入(1,249,416千円増加)  
特別事業、債権運用の財源として取崩した減価償却引当特定資産が予算計上額を上回りました。また、前年度確定数値(前期末未収入金収入等)が予算に計上されていないため差異となりました。

### 支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費支出	8,464,235	8,505,299	△ 41,064
教育研究経費支出	4,736,990	4,792,420	△ 55,430
管理経費支出	927,758	856,562	71,196
借入金等利息支出	6,103	6,102	1
借入金等返済支出	138,920	138,920	0
施設関係支出	680,000	260,333	419,667
設備関係支出	1,322,119	958,938	363,181
資産運用支出	3,615,395	4,813,381	△ 1,197,986
その他の支出	206,406	407,167	△ 200,761
予備費	(59,515) 15,485		15,485
資金支出調整勘定	△ 601,097	△ 284,693	△ 316,404
翌年度繰越支払資金	4,912,079	7,266,244	△ 2,354,165
支出の部合計	24,424,393	27,720,673	△ 3,296,280

### ■予算と決算の差異の主な理由

- ②支出の部
- 人件費支出(41,064千円増加)  
依願退職者の増加により、退職金が予算計上額を上回りました。
  - 教育研究経費支出(55,430千円増加)  
研究費のうち外部資金(受託研究費、研究奨励寄付金)の執行実績が予算計上額を上回りました。
  - 管理経費支出(71,196千円減少)  
全般的な経費節減等により、予算計上額を下回りました。
  - 施設関係支出(419,667千円減少)  
特別事業予算の未使用および節減により、予算計上額を下回りました。
  - 設備関係支出(363,181千円減少)  
特別事業予算の節減および振替(消耗品支出等への振替)により、予算計上額を下回りました。
  - 資産運用支出(1,197,986千円増加)  
当年度減価償却額の確定および減価償却引当特定有価証券が早期償還されたことに伴う減価償却引当特定資産の繰入、サポート募金事業引当特定預金の繰入等により、予算計上額を上回りました。
  - その他の支出(200,761千円増加)  
前年度確定数値(前期末未払金支払支出)が予算に計上されていないため差異となりました。

## 事業活動収支計算

### 事業活動収支計算書について (学校法人会計基準第15条の要旨)

当該年度の①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、①、②以外の活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した当該年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としています。

科目	予算	決算	差異
教育活動収支差額	△ 418,568	72,152	△ 490,720
教育活動外収支差額	259,766	255,575	4,191
経常収支差額	△ 158,802	327,727	△ 486,529
特別収支差額	196,800	27,407	169,393
予備費	22,915		22,915
基本金組入前 当年度収支差額	15,083	355,134	△ 340,051
基本金組入額合計	△ 1,217,407	0	△ 1,217,407
当年度収支差額	△ 1,202,324	355,134	△ 1,557,458
前年度繰越収支差額	△ 18,569,626	△ 15,636,569	△ 2,933,057
基本金取崩額	0	130,364	△ 130,364
翌年度繰越収支差額	△ 19,771,950	△ 15,151,071	△ 4,620,879

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	17,331,546	17,972,907	△ 641,361
事業活動支出計	17,316,463	17,617,773	△ 301,310

基本金の取崩額の内訳および2018年3月末基本金は、次のとおりです。

	基本金取崩額	2018年3月末 基本金
<b>(第1号基本金)</b>		<b>150,801,516千円</b>
本年度取得資産額 (自己資金による支払分)	1,219,271千円	
本年度取得資産額 (寄贈分)	69,381千円	
本年度取得資産に係る 未払金計上額	△15,526千円	
前年度取得資産に係る 未払金の本年度支払額	175,000千円	
過年度取得資産に係る 借入金返済金額	103,050千円	
本年度除却額	△1,681,540千円 △130,364千円	
<b>(第2号基本金)</b>		<b>0千円</b>
該当なし		
<b>(第3号基本金)</b>		<b>5,500,000千円</b>
該当なし		
<b>(第4号基本金)</b>		<b>1,120,000千円</b>
該当なし		

### ■予算と決算の差異の主な理由

- ① **教育活動収支差額(490,720千円増加)**  
【経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支状況】  
事業活動収入では、手数料以外の収入科目が増加し、事業活動支出では、教育研究経費の増加分が人件費および管理経費の減少により軽減したため、教育活動収支差額は予算計上額を大幅に上回りました。
- ② **教育活動外収支差額(4,191千円減少)**  
【経常的な収支のうち、財務活動による収支状況】  
事業活動収入の受取利息・配当金が金利低下の影響を受け減少したことにより、教育活動外収支差額は予算計上額を下回りました。
- ③ **経常収支差額(486,529千円増加)**  
【経常的な収支バランス：①教育活動収支差額＋②教育活動外収支差額】  
主に経常的な本業の教育活動の収支である教育活動収支差額が増加し、経常収支差額は予算計上額を上回りました。
- ④ **特別収支差額(169,393千円減少)**  
【資産売却や処分等の臨時的な収支状況】  
事業活動収入において、過年度に評価替えを行った債券の早期償還があり多額の資産売却差額を計上したが、事業活動支出において、それを上回る機器備品および図書資産処分差額を計上したため、特別収支差額は予算計上額を下回りました。
- ⑤ **基本金組入前当年度収支差額(340,051千円増加)**  
【毎年度の収支バランス〔旧帰属収支差額〕】  
主に経常的な本業の教育活動の収支である教育活動収支差額が増加したことにより、基本金組入前当年度収支差額は予算計上額を上回りました。
- ⑥ **基本金組入額合計(1,217,407千円減少)**  
【学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額】  
当年度の資産除却額が資産取得額を上回ったため、基本金組入額が無くなり、予算計上額全てが差異となりました。
- ⑦ **基本金取崩額(130,364千円増加)**  
当年度の資産除却額が資産取得額を上回ったため、その差額を基本金取崩額として追加計上したことにより差異が生じました。

## 貸借対照表

### 貸借対照表について (学校法人会計基準第32条の要旨)

資産の部、負債の部および純資産の部の科目ごとに、当該会計年度末の額を前会計年度末の額と対比して、当該会計年度末の財産の状態を表すものです。

### 資産の部

科目	年度	2016末	2017末	増減
固定資産		142,244,250	142,898,987	654,737
有形固定資産		112,531,970	110,281,709	△ 2,250,261
特定資産		28,468,061	31,362,092	2,894,031
その他の固定資産		1,244,219	1,255,186	10,967
流動資産		8,019,937	7,460,371	△ 559,566
資産の部合計		150,264,187	150,359,358	95,171

### 負債および純資産の部

科目	年度	2016末	2017末	増減
負債の部		8,348,875	8,088,912	△ 259,963
固定負債		4,452,746	4,290,597	△ 162,149
流動負債		3,896,129	3,798,315	△ 97,814
純資産の部		141,915,312	142,270,446	355,134
基本金		157,551,881	157,421,517	△ 130,364
繰越収支差額		△15,636,569	△ 15,151,071	485,498
負債および純資産の部合計		150,264,187	150,359,358	95,171

※わかりやすくするため、決算報告書の貸借対照表と年度の並び順を変更して表示しています。

### ■貸借対照表各科目の主な増減理由

- ① **資産の部**
  - **有形固定資産(2,250,261千円減少)**  
当年度の減価償却資産の資産価値減少額(当期償却額)が該当資産の取得額を上回ったため、有形固定資産は減少しました。
  - **特定資産(2,894,031千円増加)**  
減価償却資産の更新資金の積立てにより、特定資産は増加しました。
  - **その他の固定資産(10,967千円増加)**  
特別事業(システム更新事業)に係る長期前払金の計上により、その他の固定資産は増加しました。
  - **流動資産(559,566千円減少)**  
特別事業費等の支払により、現金預金は減少しました。
- ② **負債の部**
  - **固定負債(162,149千円減少)**  
長期借入金のうち、1年未満に返済予定の金額を短期へ振替えたこと、および退職給与引当金の繰入調整を行ったことにより、固定負債は減少しました。
  - **流動負債(97,814千円減少)**  
授業料等の前受金の減少に伴い、流動負債は減少しました。
- ③ **純資産の部**
  - **(基本金)**
    - **第1号基本金(130,364千円減少)**  
資産除却額が取得額を上回ったことにより、基本金を取崩しました。
  - **(繰越収支差額)**
    - **翌年度繰越収支差額(485,498千円減少)**  
教育活動収入の増加および基本金取崩により、翌年度繰越支出超過額は減少しました。

## 活動区分資金収支計算

活動区分資金収支計算書について (学校法人会計基準第14条の2要旨)

資金収支計算書を組み替えて、現預金の流れを活動区分ごとに把握することができます。

区分	金額	内容説明
教育活動資金収支差額	32.0億円	キャッシュベースでの本業の教育活動の収支状況を見ることができます。
施設整備等活動資金収支差額	△ 38.2億円	当年度に施設設備の購入等があったか、財源がどうだったかを見ることができます。
その他の活動資金収支差額	1.0億円	借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見ることができます。
支払資金の増減額	△ 5.2億円	

## 経年比較

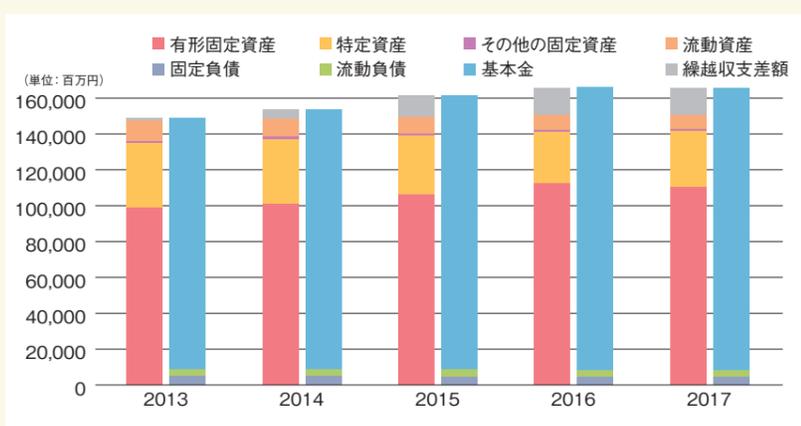
### 事業活動収支差額比率の推移

経営状況を表す財務指標である事業活動収支差額比率(基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入×100% : この値は高い値が良い)の2013年度から2017年度までの数値は次のとおりです。



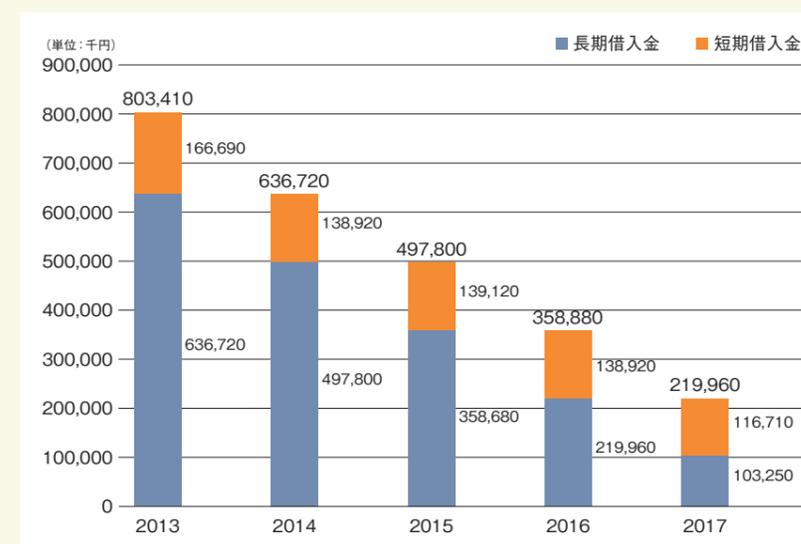
### 貸借対照表の推移

2013年度から2017年度までの数値は、次のとおりです。



## 借入金残高の推移

新たな借入れを行わず、計画に基づく返済を行った結果、借入金残高は減少しました。また、2017年度末の自己資金に対する借入金等の割合、いわゆる負債比率(総負債÷純資産: この値は低い値が良い)は、約5.7%となっています。右表のとおり順調に減少傾向にあり、2019年度までには、現在の借入金残高を完済する予定です。

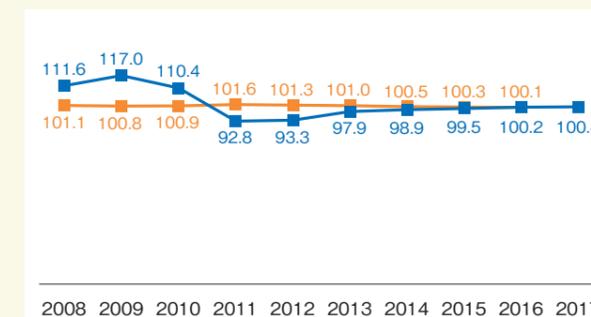


※1 長期借入金は、返済期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものです。  
 ※2 短期借入金は、返済期限が貸借対照表日後1年以内に到来するものです。

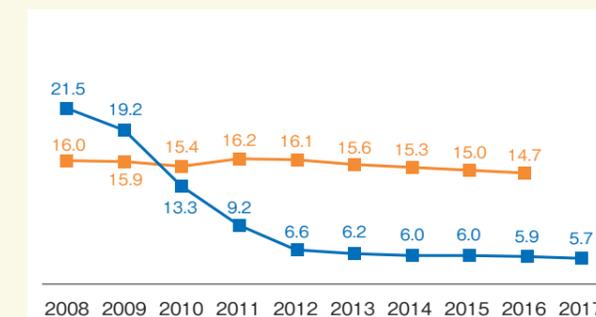
## 財務比率の推移

■ 理工他複数学部平均(「今日の私学財政」より)です。  
 ■ 本学(東京電機大学)の数値です。

固定比率(%)…固定資産÷純資産  
 (この比率は低い値が良い)



負債比率(%)…総負債÷純資産  
 (この比率は低い値が良い)



流動比率(%)…流動資産÷流動負債  
 (この比率は高い値が良い)



純資産構成比率(%)…純資産÷(総負債+純資産)  
 (この比率は高い値が良い)

